

※該当箇所に○または掲載予定日をご記入ください

ホームページへの掲載	
済	12月7日 掲載予定

---

## 岐阜県立可児工業高等学校

学校長 佐藤 芳満

学校住所 可児市中恵土2358-1 電話0574-62-1185

---

1 会議の名称 学校評議員による会議（第2回）

2 会議の構成 委員 石原 好弘 可児工業高等学校同窓会監査  
〔石原・大島設計事務所代表〕  
加藤 皓 可児市中恵土自治会連合会長  
佐藤 千枝 可児市青少年育成推進員  
玉田 吉孝 リンナイ精機取締役  
水野 妙子 多治見法人会可児支部女性部会長

（委員名は五十音順）

学校側 佐藤 芳満 校長  
渡部 邦夫 教頭  
長谷川清志 教頭  
小森 敏男 事務長  
古田 哲 教務部長  
兼松 竹司 生徒指導部長  
川合 正郎 進路指導部長  
大山 好武 工業科主任

3 会議の目的 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、もって本校教育の一層の改善・充実に資する。

4 会議の開催 平成19年11月17日（土） 11：00～13：00  
於：可児工業高等学校 校長室  
委員5人、学校側8人が出席

- 5 会議の概要      今回は、可児工祭を見学していただいた後、学校の近況報告をし、評議員の方々から可児工祭や行事全般についての感想・意見、そして本校のあり方や、地域が求める工業高校についてなど、最近の話題等を含め意見をいただいた。また、PTAの方々企画されている「食物バザー」の試食をしてもらった。

(1) 可児工祭・学校行事について

- 意見1   ものづくりに対して一生懸命頑張ってる姿を拝見しました。是非こうした姿で今後も頑張っていたきたいと強く思いました。
- 意見2   進路からの説明がありました、高い求人率は可児工業高校の取り組みの成果だと思います。その理由の中に本日見学させてもらう中で、旋盤・フライス盤・鋳込の実習を見学しましたところ、生徒の目つきが大変よかった。  
先生の指導のもと、基本的な部分を丁寧に指導されておられました。（プロの目から見て）自分の40年前を思い出します。  
どれだけデジタルな作業が進歩しても、人の手作業の基本ができていないと、ものづくりはだめだということが再確認でき、うれしかったです。
- 意見3   工業高校を見学させてもらい、カルチャーショックを受けました。  
今回見学させてもらい、様々な事にチャレンジしている生徒さんを直接拝見させてもらい、機械だけど、そこには人が携わっているということがひしひしと伝わってきました。  
今自分に息子がいましたら、是非可児工業高校に進学させたいと強く思いました。
- 意見4   図書館での絵本の展示が工業高校でされていることにとっても新鮮に感じました。
- 説明    選択の家庭科の授業で、隣の保育園への訪問など交流を行う中でこうした事に興味を持つ生徒もいるなかで、今回の展示になりました。
- 意見5   工業高校とはいえ、幅広い分野での育成も大切であるということですね。
- 意見6   OB   であるということと、評議員2年目ということもあり積極的な意味で少し苦言も必要であるという観点で意見を述べます。  
今年の可児工祭は少し盛り上がり欠けるように思いました。これは取り組みからの問題もあるように思います。以前は一週間ぐらい泊まり込みでやっていたように思います。（ルール違反であると思いますが）それくらいであったし、それくらいでないと、見てもらうという迫力がないのでは・・・  
又体育祭の応援も、時々外から見ていますが、よくやっているとは思いますが少し迫力がなくなってきたように思います。来年は是非今年以上の体育祭、可児工祭を期待しています。  
一部ではありますが、トイレが少し汚れていたのが気になりました。

## (2) 工業高校のあり方・地域が求める工業高校とは

意見1 公民館活動など積極的に参加していただき感謝しています。

意見2 地域住民の声をまとめてみますとこうした声が寄せられています。

\*とてもよい挨拶ができています。可児工業高校の定着した姿ではないか

\*一般では声を掛けてもそっぽをむくのが高校生であるが、よく挨拶をしてくれます。

これは学校全体で取り組んでおられる結果ではないか・・・

意見3 公民館祭りに参加していただきありがとうございます。一般参加者の声

\*「ふわふわハウス」は参加者から大変好評でした。これを高校生がやってくれたのか、すばらしいという評価をあちこちで聴くことができました。

\*裏方として本当によくやってくれました。

\*高校生の手作りであるということに感心した。

\*高校生に対して頼みにくいという側面があるが、よくやってくれるのでうれしいです。

\*これからもいいアイデアを出してください。

意見4 MS リーダーズの活躍がすばらしい、時々一緒に活動させてもらっていますが、大変気持のよい姿であると思います。

意見5 工業高校から四年生大学（工業大学）に進学する意味があるのではないのでしょうか、普通科から工業大学への進学より意味があるように思います。

今以上に工業大学への進学指導も、これからの可児工業高校のあり方の一つではないのでしょうか・・・

意見6 現在抱えている企業の問題は、労働力の確保が一番の問題です。

現在1／3が外国人が占めている、そして女性の製造業離れが深刻である。こうした問題が解決されていかないと、技術と品質という点で今後大きな問題としてクローズアップされてくると思います。

こうしたことを今の若い人たちにいかに伝えていくことが大切か、工業高校の役割の大切さを現場をあづかる者として痛感しています。

意見7 最近話題になっているいろいろな事件や報道があるが、現代人はストレスに弱くなっ

ていると思う。大人になってからではコミュニケーション能力は育ちません。みんなが協力したり交流しあう文化祭などの機会を大切にする必要があるのではないのでしょうか。

### (3) 進路の概要について

意見1 専門学校より大学進学が多くなっているのはなぜか

説明 専門学校の授業料が最近大学とおなじような金額になってきているため、それなら大学にいけるのであれば四年生大学を目指す傾向が強くなってきました。

意見2 公務員の進路状況はどのようでしょうか

説明 結果はまだですが、現在の状況としては警察官の一次試験通過が四名、市町村役場が一名受験中という現状です。

意見3 大企業への就職が大変著しいようですが、そうした生徒の状況はどうでしょうか

説明 大企業への就職は、学園生というシステム（将来の現場管理職・責任者の養成）で就職するので、高校での評価は三年間の平均が4～4.5が必要であり、本校でもトップレベルの生徒が進みます。

### 会議のまとめ

例年、第二回は「可児工祭」の日を選定し、生徒と直接ふれあっていただく事や、日頃の活動の成果を見ていただく機会としてしている。会議では、多くの外来者と接する機会が得られ、生徒が生き生きと活動を展開している姿があったと評価をいただいた。そして、「一生懸命に取り組む」姿勢が見られ、こうした活動を教育活動全般で反映できる事が大切との指摘を受けた。今後も可児工祭を通し生徒の「自己アピール」や「コミュニケーション能力」を身に付ける場としていきたい。

又、これからの工業高校の生き方・あり方、そして地域と可児工業高校との密接な関わりについて素晴らしい評価、あるいは今後のあり方についてのご意見を大切に、よりよい可児工業高校づくりにいかし、努力していきたい。

最後に、PTAの役員の皆さんが可児工祭のために二日ばかりで準備してくださいました、焼きそばと、豚汁を、評議員・学校側のみんなでおおいしくいただき、和やかな雰囲気と世間話で会を閉じることができました。